



*Network with  
Intelligence and  
Service*



私たちの約束はひとつ

幸せになろう



朝日新聞販売会社  
株式会社 エヌ・アイ・エス

〒270-1433 千葉県白井市けやき台1丁目3-2

TEL 047-491-5525 (代) FAX 047-492-1720

(広報部 TEL 047-498-4838 FAX 047-498-4839)



# 幸せになろう

の一言です。私たちが自信をもってご提供するサービスのひとつひとつが、お客さまの心に小さな幸せの灯をともす……。ささやかですが、毎日の仕事のなかで、そんな幸せを味わうことが、私たちの仕事の目標です。そのささやかな幸せが、いつかきっと人生の大きな幸せにつながる……。エヌ・アイ・エスはそう考えます。

## 社訓

1. 三つのぞうし（資・紙・士）をめざそう
2. 読者絶対主義を貫こう
3. まわりの人たちから頼られる、やさしい人間になろう
4. 情報伝達のサービス業として、正確に、早く、丁寧な配達網を創ろう
5. 互いに知恵を出し、個性を尊重し、みんなで夢を語り合える職場を創ろう

## NIS 業務遂行三原則

素直に  
熱意をもって  
努力 100%

## ★ 会社概要

“街の新聞販売店”から、地域のコミュニケーションを担う情報ステーションとして暮らしのさまざまなシーンでお役に立つ“地域コミュニケーション企業”へ……エヌ・アイ・エスは今日も1歩1歩、歩みを進めています。その足跡をご紹介します。

1987年	朝日新聞白井専売所引き継ぎ	2002年	ポイントショップ富士店、北白井店開設
1990年	白井専売所をASAニュータウン西白井に改名、ASA白井池の上開設	2004年	ASA青葉の森（千葉市中央区）、ASA千葉桜木町（千葉市若葉区）引き継ぎ。有限会社NIS千葉設立。ミニコミ紙『こあじさし』創刊
1991年	有限会社エヌ・アイ・エス設立	2008年	市内全戸配布の「ASA伝言板PS」創刊。白井市ふるさとまつり会場で小学生の「新聞記者体験」実施
1995年	ミニコミ紙『ASA伝言板』創刊	2010年	恒例の「新聞活用スクラップ講習会」「子ども記者体験」「新聞の読み方講座」等、子どもたちを対象にした一連の取り組みを再構成、「ASA子ども元気塾」開設
1997年	広報部開設。ミニコミ紙『ほおじろ』創刊	2011年	4月 株式会社エヌ・アイ・エスとして新たな1歩を踏み出す
1998年	ポイントサービス開始		
1999年	長期固定読者向サービスクラブ、ハッピー倶楽部創設（会員向情報紙『トクトク情報』創刊）。コミュニティセンター（現・企画開発部）開設		
2001年	ホームページ開設 ( <a href="http://www.shiroi-nis.com">http://www.shiroi-nis.com</a> )		

朝日新聞販売会社 株式会社 エヌ・アイ・エス

〒270-1433 千葉県白井市けやき台1丁目3-2  
TEL 047-491-5525(代) FAX 047-492-1720

代表取締役 能登 昭博

事業所 ASAニュータウン西白井 ASA白井池の上



## ★ 私たちの仕事

お客さまに、正確・迅速に新聞をお届けすることはもちろんですが、地域の情報伝達の要として、果たすべき使命は多岐に……。

「新聞販売の仕事って何となくマイナーなイメージ……そんな先入観をお持ちの方も多いのではないのでしょうか？ 実は私自身も当社に入社するまではそうでした。けれど、実績を上げれば上げただけ自分に返ってくるものも大きいと聞いていたので、実利優先で当社の門を叩きました。



入社して、当社の実務を経験し、今はその奥の深さを実感し、またやりがいも感じています。単に新聞を販売するのではなく、地域の方々の暮らしを豊かに楽しくするためのさまざまな情報やサービスを提供するという大事な使命があることを知ったからです。お客さまとのグッド・コミュニケーションを創造すること。それが今の私の仕事。難しいことも多いけれど、情報伝達のサービス業に携わる人間として、誇りをもって取り組んでいます」

## ★ より充実した仕事を目指して…… 社内活動

現場の、あるいはバックヤードの数多くの部署で、多くの社員がアクティブな活動を展開しています。社員一人一人が持てる力を十二分に発揮し、同じベクトルで大きな成果を目指すためには、他部門との連携、社内における情報の共有は必須の課題。そこで、以下のような活動にも力を入れています。

### 新年社員大会

毎年1月、全社員がそれぞれ仕事への決意を新たにするために一堂に会します。前年度、優れた成果をあげた社員の表彰や、毎年行われる海外研修旅行へ派遣する社員の発表等も行われ社員にとって楽しみな行事のひとつです。

### 経営指針発表会

前年度の決算を終えた6月、会社の、また社員一人一人の前年度の業績を評価し、新たな取り組みへの決意表明を行う場として開催する当社最大の社内行事。当社の経営指針を示す大事な場でもあり、朝日新聞本社をはじめ各方面からの来賓もお招きするこの行事には、全社員が襟を正して参加します。

### CS 社員大会

テーマは Customer Satisfaction (顧客満足)。お客さまにご満足いただけるよう業務の質の向上を図り、同時に社員ひとり一人の資質を高めるため、研修を行い、共に学びあう場ともなっている行事です。

### 各種委員会活動

日々の業務の方向性を決める大事な場所として、また他部門との情報交換の場としても機能しているのが、毎月行われる会議や委員会。各部門の責任者で構成する最高意志決定機関・経営運営会議や、新聞奨学生やアルバイトの学生たちが働くことの喜びや誇りを確認し、支え合う、学生ミーティング、その他 M委員会、H(ハート)委員会等が活発な活動を展開しています。



## ★ 私たちは地域の暮らしを応援しています

毎日の暮らしのお役に立つ、暮らしを楽しむサービスをご提供することが私たちの使命。そこで、こんな取り組みも行っています。

### ● ポイントサービス

新聞をお読みいただいたお客さまにポイントを差し上げています。お貯めいただいたポイントは、暮らしに役立つさまざまなグッズや地域のお店で使えるお買い物券と交換。春秋のポイントまつりでは、季節のお花やその時々価値ある商品とのポイント交換も行っています。さらに、当社主催のさまざまなイベントの参加費としてもお役立ていただける当社オリジナルのポイントサービス、多くのお客さまのご好評をいただいています。サービスの拠点として稼働する“ポイントショップ”も各地に展開。地域の皆さまにもイベント会場等々として、ご利用いただいています。

### ● ハッピー倶楽部

長期購読のお客さまに、特別なサービスをご提供する当社独自の会員制度。事務局スタッフが心をこめて選んだプレゼントや、会員限定のイベントもお楽しみいただけます。例えば“シネマサークル”。映画好きな会員の方々にお集まりいただいて、ご近所で大スクリーンの映画をお楽しみいただく上映会を定期的で開催しています。

### ● 地域情報紙の発行

朝日新聞本紙には載らない、ご近所の身近な情報をお伝えするため、地域情報紙を発行しています。写真満載で地域の方々の活躍ぶりをお伝えする「ほおじろ」「こあじさし」、サークルの仲間募集や地域限定のイベント、お店のPR等にも使っていただける「ASA 伝言板」「ASA 伝言板PS」。いずれも気軽にご利用いただける情報発信ツールとして、地域の皆さまにご活用いただいています。

### ● 各種イベントの主催・後援

そのほかにも、当社が主催あるいは後援するイベントはいろいろ。例えば地域の落語愛好家の皆さんに大好評の落語会、ピアノコンサートや人形劇の公演等々も主催しています。当社が後援するバスツアーも好評。こうしたイベントをきっかけに、新たなコミュニケーションも生まれています。

### ● 主役は子どもたち……ASA 子ども元気塾

小・中学生の皆さんに、新聞に親しむ事で、文章を読み解く力、社会に目を向け、考える力を育てていただきたいと、さまざまな取り組みを行っています。朝日新聞社の協力を得て、プロ記者の指導のもと実施している「子ども記者体験」もそうした活動のひとつ。取材、原稿執筆、新聞紙面制作までの行程をこなし、実際に刷り上がった紙面を手にした子どもたちは、いずれも大きな達成感を感じてくれています。また、毎年夏休みには「新聞活用スクラップ講習会」を実施、毎年、小学生から社会人まで多くの方々にご参加いただいています。未来を担う子どもたちが、新聞の活用を通して知力・活力を育み、元気いっぱい日本をつくる原動力になってくれるはず……そんな思いをこめたこの活動を、私たちは“ASA 子ども元気塾”と呼んでんでいます。